

# 山間地域の特色を活かした農業振興 (下仁田町・南牧村)

計画年度：平成30～32年度



# 課題設定の背景及び理由

## 1. 背景

- (1) 平坦地が少なく、農業生産条件が不利
- (2) 近年、高齢化による担い手不足の深刻化と生産意欲の低下

## 2. 理由

- (1) 下仁田町・南牧村の「道の駅」：人気が高まり、集客力がアップ。  
地元農産物の売上げ増加。 → 道の駅を核とした地域農業の振興！
- (2) 南牧村の女性加工組織の活発な活動  
→ 道の駅を核とした農産物加工の販売強化！
- (3) 山間地域の条件を活かした南牧村花卉生産組合の活動  
→ 地域に根ざした生産振興と担い手育成の拠点！
- (4) 村内のユズの有効活用（以前村で振興したユズの再利用）  
→ 未利用資源の活用による農業振興！



道の駅しもにた



道の駅オアシスなんもく

# 主な推進課題

- 1 . 道の駅の活性化支援
- 2 . 南牧村新規花き栽培者の確保
- 3 . 山間地域農業の経営安定支援

# 具体的な推進課題と解決手法

## 1．道の駅の活性化支援

### (1) 下仁田町道の駅

直売所の売り場面積の拡大に伴う農産物出荷品目・量の増加

- ・ **出荷品目の安定生産と新規農作物の導入**
- ・ **道の駅（生産者、駅長）と関係機関（町、普及）との連携**

### (2) 南牧村道の駅

直売所の農産物は品目・量とも十分でない。加工組織員の高齢化。

- ・ **新規農作物の導入と出荷品目の安定生産**
- ・ **加工活動の強化**
- ・ **加工組織への新規加入者の確保**

# 具体的な推進課題と解決手法

## 2. 南牧村新規花き栽培者の確保

### (1) 花き栽培者の高齢化と産地存続への不安

南牧村の花き生産は、農業生産の主力品目！

- ・生産者と関係機関で連携した新規栽培者受入体制の整備
- ・村内外からの新たな花き栽培者の確保

## 3. 山間地域農業の経営安定支援

### (1) 花き有利販売のための新規品目の提案と産地PR活動

- ・栽培技術向上  
実証ほの設置による新品種の導入
- ・産地PR活動  
市場での商品展示や役場HP等を活用した情報発信

### (2) ユズの有効活用による特産物（加工品を含む）の推進

- ・新たな担い手の確保・育成  
個別巡回による栽培指導
- ・栽培技術の向上と加工品開発  
せん定講習会の開催、情報提供（加工品を含む）

## 到達目標（目標年次の姿）

課題	項目 \ 年次	H29 (現状)	H30	H31	R2
1	南牧村・下仁田町直売所の売上額（合計：千円）	147,720 (H28)	148,720 (H29)	149,720 (H30)	150,720 (R1)
	新規農産物・加工品開発改良品（累計：点）	2	5	12	13
2	新規花き栽培者（累計：人）	2	3	4	5
3	新規花き品目の導入（累計：品目）	-	1	3	4

直売所の売上額は、集計の関係で1年遅れの実績を使用

# 活動経過及び結果

## 1. 道の駅活性化支援

### 【経過】

#### (1) 下仁田町道の駅

- ア. 売場を鮮やかにして販売力を強化
  - ・カラフルニンジンの導入支援
- イ. 円滑的な道の駅の運営強化
  - ・道の駅と関係機関との意見交換会



カラフルニンジンの展示ほ

#### (2) 南牧村道の駅

- ア. 山菜、加工品の販売品目の強化
  - ・あまわらびの導入支援
  - ・新規加工品の開発と品質改良  
(南牧村加工研究会、なんもくかあちゃん本舗)
- イ. 新規加入者の確保
  - ・加入者募集チラシを道の駅に掲示



豆腐の試作

# 活動経過及び結果

## 1. 道の駅活性化支援

### 【結果】

#### (1) 下仁田町道の駅

ア. カラフルニンジンの展示・出荷

→ **売場の彩りが豊かに。通常の五寸ニンジンよりも高単価で販売。**

イ. 関係機関（町：農政、観光）、道の駅（駅長、協力会役員）との意見交換会の開催（年2回）

→ **情報の共有化による今後の活動方向を見出す**



カラフルニンジン（5品種）



意見交換会



# 活動経過及び結果

## 1. 道の駅活性化支援

### 【結果】

#### (2) 南牧村道の駅

ア. あまわらびの栽培開始

#### 新規栽培作物の導入

イ. 南牧の四季の農産物を具材に用いたパイ、パン、マフィン等を新たに製品化。「かあちゃん豆富」の品質の改良。

加工意欲の向上。販売品目の増加。



H30年度成果指標 (品目)	目標	平成30年度 実績
農産物新品目 [ 下仁田町道の駅 ]	1	1
農産物新品目 [ 南牧村町道の駅 ]	1	0 (生育中)
農産物加工品開発改良	1	8

# 活動経過及び結果

## 2. 南牧村新規花き栽培者の確保

### 【経過】

- (1) 新規栽培者受入体制の整備
  - ・関係者受入体制及び営農モデル策定検討会の開催
- (2) 村内外からの新たな花き栽培者の確保
  - ・産地見学会、切り花説明会の開催
  - ・新規就農者募集HPの作成支援



新規栽培者向けの産地見学会

### 【結果】

- (1) 新規栽培者受入体制の整備
  - 受入体制整備（合意形成）
  - 営農モデルの策定
- (2) 村内外からの新たな花き栽培者の確保
  - 新規栽培者1名（H31年4月）の確保
  - \* 南牧村花卉生産組合（組合員18名）
  - 新規就農者募集HPの作成



出荷調整説明会

# 南牧村新規栽培者の確保・育成（イメージ）

## 募集・PR

南牧村はHP、村報、ケーブルTV、JA広報誌で新規就農者を募集する。

## 就農相談

「チーム南牧」で、新規栽培に対する各種相談を行い就農のイメージづくりを行う。

主要数品目で、栽培をスタートする。

## 栽培見学会

年2回程度開催し、花卉生産組合員と農業事務所担当者が実態を説明する。

## 住居（空家）

南牧村の古民家バンクを利用する。（条件により家屋改修の補助金が該当する）

新規（参入）就農者

## 南牧村花卉生産組合

（花好き・世話好き・村好き18人集）

## 技術習得

短期、長期の連続研修やスポットの研修を花卉生産組合が受入する。

## 農地等

南牧村農業委員会、花卉生産組合員からの斡旋を受ける。（労力にもよるが、30a以上を目ざす）

就農  
（村へ移住）

チーム南牧（南牧村、花卉生産組合、JA、農業事務所）

# 活動経過及び結果

## 2. 南牧村新規花き栽培者の確保

H30年度成果指標	目標	平成30年度 実績
受入体制整備(体制)	1	1
新規花き栽培者(人)	1	1
営農モデル(モデル)	1	1

# 活動経過及び結果

## 3 . 山間地農業の経営安定支援

### < 花き >

#### 【経過】

#### (1) 栽培技術向上支援

ア . 現地検討会、栽培研修会の開催。  
種苗会社視察等。

#### イ . 実証ほの設置

- ・ オランダセダムとリシマキアの施肥試験
- ・ 新規品目導入試験 (オリーブ、ユーカリ)

#### (2) 産地PR活動

ア . 市場での切り花の展示、花きの商談会  
(国際フラワーEXPO)への参加。出荷品  
目や品質の高さなどの産地PR。

イ . 「なんもくの花」と題した産地情報を作成  
し、南牧村役場のHPへ掲載。



現地検討会



市場でのPR活動

# 活動経過及び結果

## 3. 山間地農業の経営安定支援

### <花き>

#### 【結果】

##### (1) 栽培技術向上支援

ア. 研修会等には毎回ほとんどの組合員が参加

→ **花き生産への意欲の高まり  
出荷量・販売額の増加**

イ. オリーブ・ユーカリの栽培適応性を確認

→ **新規品目の導入**

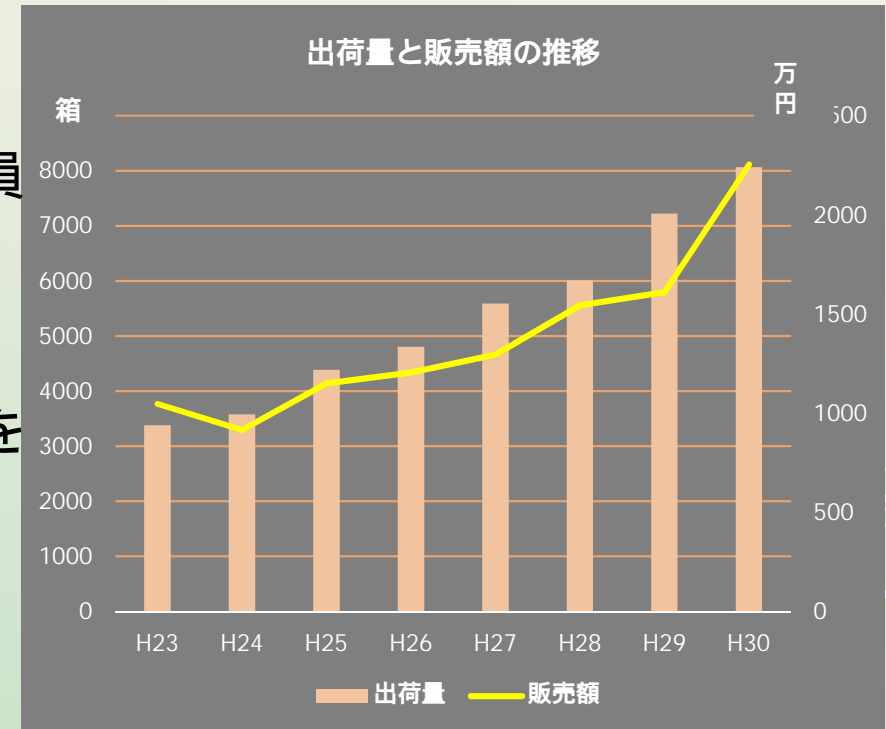
##### (2) 産地PR活動

ア. 現地検討会への市場関係者の増加

→ **市場要望への対応。市場評価の向上。**

イ. 他産地等からの視察、各種メディアの取材など、各方面から注目。

→ **産地知名度の向上**



# 活動経過及び結果

## 3 . 山間地農業の経営安定支援

H30年度成果指標	目標	平成30年度 実績
販売額増 [ 前年比 ] ( % )	5	40 ( 価格高 )
新品種導入数 ( 品目 )	1	2

# 活動経過及び結果

## 3 . 山間地農業の経営安定支援

### <ユズ>

#### 【経過】

- (1) 新たな担い手の確保・育成
  - ・ 個別巡回指導  
(栽培管理資料の提供、生産・貯蔵方法の指導)
  
- (2) 栽培技術の向上と加工品開発
  - ・ 実演を交えたせんだ講習会の開催
  - ・ 加工業者の紹介などの情報提供



せんだの実演



# 活動経過及び結果

## 3. 山間地農業の経営安定支援

### <ユズ>

#### 【結果】

##### (1) 新たな担い手の確保・育成

- ・ 個別巡回による意見交換及び情報の提供

→ **3名の新規栽培者の確保**

##### (2) 栽培技術の向上と加工品開発

- ・ せんだい講習会による栽培管理及び技術の習得

→ **生産性のある樹形に回復**



せんだい講習会

H30年度成果指標	目標	平成30年度実績
ユズ適正管理農家数(戸)	1	3

# 到達目標と実績

課題	項目 \ 年次	H29 (現状)	H30		H31	R 2
			目標	実績		
1	南牧村・下仁田町直売所の売上額（合計：千円）	147,720 (H28)	148,720 (H29)	144,589 (H29)	149,720 (H30)	150,720 (R1)
	新規農産物・加工品開発改良品（累計：点）	2	5	11	12 [ 8 ]	13 [ 11 ]
2	新規花き栽培者（累計：人）	2	3	3	4	5
3	新規花き品目の導入（累計：品目）	-	1	2	3 [ 2 ]	4 [ 3 ]

課題1、3のH31、R2の下段 [ ] は当初目標。上段は上方修正値。

# 残された課題と今後の対応

今後も地域の特性を活かした農業生産と農産加工・販売により、条件不利地のハンデを乗り越えていくことが不可欠！

## 1 新規農産物の導入・加工品の開発を通じた道の駅の魅力度アップ

- ・ 地産地消の推進と道の駅へのリピ - タ - の確保
- ・ 消費者ニ - ズに対応した新規品目の導入推進と加工品づくりの推進

## 2 南牧村新規栽培者の確保と山間地農業の経営安定支援

### <花き>

- ・ 関係機関との連携強化による担い手の確保
- ・ 現地検討会、栽培講習会の実施による栽培技術等の向上と産地PRの強化

### <ユズ>

- ・ 個別巡回指導、せん定講習会の実施による栽培技術の向上と生産者の確保
- ・ 販路拡大のための情報収集と新たな加工品の開発